

公益財団法人静岡県国際交流協会 令和元年度事業報告

- 令和元年度は、引き続き外部財源（県等の委託・補助事業）の確保、事務費の縮減及び事業費の精査に努め、結果として決算額（経常費用計）は6,385万円余（前年度5,130万円余）、経常収支は369万円余の黒字（前年度168万円余の赤字）となり黒字決算となった。
- 事業実績では、外国人相談窓口の充実に伴い、年度末からの新型コロナウイルスによる影響を受け、外国人からの相談件数が増加し、必要な緊急支援の説明や対応に追われた。
重点施策として、医療通訳や就労支援など外国人住民を対象とした相談事業の高度化、多文化共生ネットワークの充実・強化、基金を活用した子どもの日本語支援や外国人児童生徒支援に携わる人材育成など多文化共生の推進に取り組んだ。とりわけ、外国人県民の方々が静岡で安心して暮らしていけるよう、7月に静岡県多文化共生総合相談センター「かめりあ」を開所した。
- 資産運用では、東京電力債（帳簿価格3億円）の令和2年3月末評価指数は109.69（前年同期111.82）となった。また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益法人会計を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業

- ア 情報誌(SIR Joy Press) 4,000部を年11回発行した。
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び5言語（日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語）による情報提供を行った。
 - ・平均ユーザー数 5,093ユーザー/月
 - ・平均ページビュー数 21,666件/月

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ2019」を開催した。

「アース(明日)カレッジ2019」

- ・開催時期 令和元年7月20日(土)、21日(日)
- ・会場 静岡市葵生涯学習センター アイセル21(静岡市)
- ・参加者 約1,100名(延人数)

(3) 外国語ボランティアバンク設置及び災害時外国語ボランティア育成事業（県委託事業）

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、県が養成した外国語ボランティアや語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供及び資質向上研修を実施した。災害時の外国人支援体制を整備するため、災害時外国語ボランティアの募集・登録を行い、研修会を実施した。

ア 外国語ボランティアバンク設置

- ・登録者数 1,390名 31言語（内災害時外国語ボランティア 258名 15言語）

イ 研修会の開催（東部・中部・西部）

「おもてなし講座」

- ・開催時期 令和元年11月17日（日）
- ・会場 沼津市立図書館（沼津市）
- ・参加者 44名

「～共生社会を目指して～ イスラム文化を体験しよう！」

- ・開催時期 令和2年1月26日（日）
- ・会場 静岡県男女共同参画センター（静岡市）
- ・参加者 20名

第1部「いまさら聞けない、でもまだ間に合う『ラグビーとは』試合の見どころとルール&レガシー」

第2部「伝えたいおもてなしの心～英語で声をかけよう～」

- ・開催時期 令和元年9月8日（日）
- ・会場 袋井市総合センター会議室（袋井市）
- ・参加者 45名

ウ ボランティアバンク通信を年6回発行

エ 語学ボランティア自主研修へ助成（4グループ）した。

オ 災害時外国語ボランティア研修会の開催（東部・中部・西部）

静岡県災害時多言語支援センターや災害時外国語ボランティアの活動についての説明及び講義「災害時に外国人が直面する課題と災害時外国人支援の心構え」、演習「災害時外国人支援の通訳・翻訳体験」を行った。

（東部）

- ・開催時期 令和元年11月17日（日）
- ・会場 沼津市立図書館（沼津市）
- ・参加者 21名

（中部）

- ・開催時期 令和2年1月26日（日）
- ・会場 静岡県男女共同参画センター（静岡市）
- ・参加者 33名

（西部）

- ・開催時期 令和元年9月8日（日）
- ・会場 袋井市総合センター会議室（袋井市）
- ・参加者 38名

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、国際活動の基本的能力である語学力の向上を図る機会を一般県民に広く提供した。

ア 国連英語検定（5月：13名、10月：16名）を実施した。

イ 国連外国語講座開催（英語・韓国語、年3回開催 各10回、静岡市・沼津市）

- ・外国語講座（受講人数計530名）を開催した。

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業（県委託事業）

県内大学で学ぶ外国人留学生 20 名に「ふじのくに留学生親善大使」を委嘱した。

委嘱後は、地域の国際交流事業に参加したり、学校や地域行事で母国文化を紹介する講師を務めたりした。

- ・委嘱人数 20 名（中国 9 名、ベトナム 4 名、スリランカ 3 名、インドネシア 3 名、マレーシア 1 名）

- ・参加事業件数 283 件

- ・事業参加親善大使 467 名

イ 留学生就職支援事業(公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業)

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、静岡県の産業や企業を学ぶ講座を実施し、企業視察を行った。

- ・開催時期 令和元年 6 月～令和 2 年 2 月

基礎講座（中部・西部） 各 3 回、 企業視察 1 回

- ・会場（公財）静岡県国際交流協会 共用会議室（静岡市）

静岡大学浜松キャンパス（浜松市）

- ・企業視察 株式会社小糸製作所（静岡市）、ホテイフーズ株式会社（静岡市）

- ・参加者 留学生 147 名

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

(7) 海外移住者援護事業（県補助事業、県委託事業）

ア 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

- ・在外県人会への助成

ブラジル県人会 700 千円、アルゼンチン県人会 200 千円、ペルー県人会 200 千円、サンパウロ日伯援護協会 80 千円、アマゾニア日伯援護協会 80 千円

- ・在外県人高齢者表彰

ブラジル 2 名、ペルー 1 名、アルゼンチン 2 名

- ・優良移住者知事表彰

アメリカ 1 名

イ 静岡県海外技術研修員受入事務事業(県委託事業)

南米県人会から推薦を受けた海外技術研修員の生活支援事務及び研修実施に関わる調整を行った。

- ・開催時期 令和 2 年 1 月 22 日（水）～2 月 11 日（火）

- ・研修員名 タミ マエダ サトウ（ブラジル）

- ・研修場所 鈴与株式会社（静岡市）

2 多文化共生推進事業

【 外国籍住民支援 】

(1) 外国籍住民支援アドバイザー設置（県委託事業）

外国人住民が抱える複雑化した課題等に対応するため、ポルトガル語及びスペイン語・ベトナム語・フィリピン語の能力を持つ相談員を配置して相談窓口を開設するとともに、県内で開催される研修会等に出向き各地域の相談対応を支援した。

- ・相談件数 938 件
- ・国別人数 ブラジル 105 人、日本 123 人、ペルー 23 人、フィリピン 140 人
ベトナム 291 人、インドネシア 90 人、中国 37 人、韓国 21 人
その他 67 人 合計 897 人
- ・相談内容 在留手続き 134 件、医療関係 86 件、労働関係 151 件、
福祉関係 22 件、教育 57 件、その他 488 件 合計 938 件

(2) 外国籍住民相談窓口高度化事業

外国籍住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、体制整備に向けた検討・研修会や調査を行うとともに、医療通訳者紹介や就労支援マッチング事業に取り組んだ。

ア 静岡県医療通訳体制整備事業（県委託事業）

「医療機関向け研修会」

医療通訳者の紹介制度や役割、医療機関における体制づくりの重要性について学んだ。

（中部）

- ・開催時期 令和2年2月11日（火）
- ・会場 静岡済生会総合病院（静岡市）
- ・参加者 13名（医療従事者、医療ソーシャルワーカー等）

（西部）

- ・開催時期 令和元年12月18日（水）
- ・会場 浜松市市民協働センター（浜松市）
- ・参加者 20名（医療従事者、医療ソーシャルワーカー等）

「医療通訳者フォローアップ講座」

医療機関における受診の流れや患者の心理、医療通訳者の専門職としての意識と責任、通訳技術等について学んだ。

- ・開催時期 令和元年8月25日（日）、9月22日（日）
- ・会場 静岡県男女共同参画センター（静岡市）
- ・参加者 医療通訳養成講座受講者58名 5言語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語、ベトナム語）

「医療通訳者紹介」

- ・派遣者 43件（5言語）
- ・派遣病院 6病院（静岡済生会総合病院 等）

イ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（（一財）自治体国際化協会助成事業）
外国人求職者及び雇用に関心のある企業への聴き取り、求職者と企業のマッチング、就労のための教育訓練、定着支援のためのアドバイザー派遣等を実施した。

- ・開催時期 平成31年4月～令和2年2月
- ・外国人住民への聴き取り 22名、企業への聴き取り 22回
- ・マッチング人数 採用面接10名、採用決定4名
- ・マッチング企業数 4社
- ・アドバイザー派遣 31回

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業（（一財）自治体国際化協会助成事業）

外国籍住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的とし、県内ボランティアが参加する「静岡県日本語ボランティアセミナー2020」を開催した。

ア 「静岡県日本語ボランティアセミナー2020」

- ・開催時期 令和2年1月13日（月・祝）
- ・会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」（静岡市）
- ・参加者 259名

イ 日本語サポーター

- ・登録者数 455名（令和2年3月31日現在）

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒に対し、日本社会で自立して生活できるよう日本語の習得支援として、日本語指導を介した防災教育等実施の支援を行った。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築

県内市町の国際交流協会の連携と協働の強化・充実を図るため、情報交換会及び研修等を開催した。

ア ホームページによる情報提供

イ 「静岡県多文化共生総合相談センター連携研修会」（県委託事業）

外国人相談員の領域、対応のノウハウ、注意する点や外国人相談にあたり役立つワークショップ、各相談機関との連携について学んだ。

(東部)

- ・開催時期 令和2年1月17日（金）
- ・会場 道の駅開国下田みなと（下田市）
- ・参加者 11名（県市町相談業務担当者、多文化共生総合相談窓口相談員、国際交流協会職員・相談員、各市町社会福祉協議会職員・相談員・各機関外国人関係業務担当者 等医療従事者、医療ソーシャルワーカー等）

(中部)

- ・開催時期 令和2年1月16日（木）

- ・会 場 静岡県男女共同参画センター（静岡市）
- ・参加者 49名
（西部）
- ・開催時期 令和元年12月19日（木）
- ・会 場 クリエイト浜松（浜松市）
- ・参加者 46名

(6) 外国人児童支援事業

日本語初期指導を必要とする児童生徒に関わることのできる人材育成を目的とし、「外国人の子ども支援員養成講座」を実施した。全3回のうち、2回以上受講した方は「外国人の子ども支援員」として県教育委員会に登録された。また、県拠出金や民間寄付等を財源とする「子どものための日本語学習支援基金」を活用して日本語能力試験受験料助成事業、日本語学習指導者派遣事業、日本語学習教材給付事業、提案型助成事業を実施した。

ア 「外国人の子ども支援員養成講座」

（東部）

- ・開催時期 令和2年1月8日（水）、1月15日（水）、1月22日（水）
- ・会 場 三島市立北小学校（三島市）
- ・参加者 43名（修了者40名）

（中部）

- ・開催時期 令和2年2月17日（月）、3月2日（月）、3月16日（月）
- ・会 場 静岡県男女共同参画センター（静岡市）
- ・参加者 62名（修了者58名）

（西部）

- ・開催時期 令和2年1月27日（月）、2月3日（月）、2月10日（月）
- ・会 場 袋井市市役所東分庁舎「コスモス館」、袋井市総合センター（袋井市）
- ・参加者 52名（修了者49名）

イ 子どものための日本語学習支援基金

「日本語能力試験受験料助成」

- ・助成対象者 95名
- 「日本語学習指導者派遣事業」
- ・派遣実施校 3校
- 「日本語学習教材給付事業」
- ・給付対象者 526名、助成金を交付した地域日本語教室 2団体
- 「提案型助成事業」
- ・採択事業件数 3件